

マス類のウイルス病に関する研究—VI

アマゴ1年魚から分離されたウイルスの同定について

中居 裕・荒井 真

Studies on the Viral Disease of salmonid Fishes—VI (Supplement)

Identification of the Virus Strain isolated from One-year-old Amago Salmon, *Oncorhynchus masou ishikawae*

Yutaka NAKAI・Makoto ARAI

森川ら¹⁾はアマゴ1年魚の伝染性造血器壊死症(以下IHN)発生例を報告している。しかし、分離されたウイルスの同定を行っていない。今回、本症例の病魚より分離されたウイルスの同定を行ったので報告する。

方 法

1. 供試ウイルス 1977年4月、森川ら¹⁾の報告する症例のアマゴ病魚(200g)より分離されたもの(GHV7701株)を用いた。
2. 同定方法 供試ウイルスはKamei *et al*²⁾

の作製したモノクローナル抗体(抗Infectious Hematopoietic Necrosis Virus [以下IHNV] 3種[5GH-1・6HG-27・6HM-7]・抗Infectious pancreatic Necrosis Virus[IPNV] 2種[4PG-3N・4PG-4]・投Hirame Rhabdoviruses[HRV] 2種[4HRG-6・4HRG-10])を用いたImmunoperoxidase法³⁾により同定を行った。IHNV対照株として、IHNV(CHab株)を供試した。

結果及び考察

表に示した結果から、供試ウイルス株はIHNV

表 同定結果

株番号	4PG-3N	4PG-4	4HRG-6	4HRG-10	5HG-1	6HG-27	6HM-7	Control
GHV7701	—	—	—	—	+	+	+	—
CHab	—	—	—	—	+	+	+	—
陰性対照	—	—	—	—	—	—	—	—

+ : 反応陽性 — : 反応陰性

と同定された。

なお、供試ウイルス株の病原性についてはニジマス⁴⁾・アマゴ⁵⁾について検討されている。

要 約

1977年4月、森川ら¹⁾の報告する症例のアマゴ病魚(200g)より分離されたウイルスは、IHNVと同定された。

今回の研究に際し、IHNV同定用のモノクローナル抗体を分与して下さったサッポロビール株式会社亀井勇統氏(現佐賀大学海浜台地生物生産研究センター助教授)に感謝いたします。

文 献

- 1) 森川進・荒井真・田代文男, 1979; マス類のウイルス病に関する研究—IV
アマゴ(*O. rhodurus*)1年魚におけるIHNVの発病例. 岐水試研報, 24, 63-68.

- 2) KAMEI, Y., J.L. POTEY, M. YOSHIMIZU, T. KI-

MURA, S. SHIRAHATA, and H. MURAKAMI, 1990; Antigenic Analysis of Fish viruses with Monoclonal Antibodies. Trends in Animal Cell Culture Technology, Kodansha Tokyo, 201-204.

- 3) KAMEI, Y., M. YOSHIMIZU, T. KIMURA, and H. MURAKAMI, 1991; Comparative Antigenic Analysis of Two Fish Rhabdoviruses, Hiramé Rhabdoviruses(HRV) and Infectious Hematopoietic Necrosis virus(IHNV) with Monoclonal Antibodies. 1991; Proceedings Second International Symposium on Viruses of Lower Vertebrates, Oregon State University, 73-81.

- 4) 中居 裕, 1994; 伝染性造血器壊死症(IHNV)に関する研究—I 大型魚由来分離株のニジマスに対する病原性. 本誌. 37-44.

- 5) 岐阜県水産試験場, 1993; 平成4年度魚病対策技術開発研究成果報告書, 24 5-256.